

大阪市立自然科学博物館所蔵のはち  
(セイボウ上科・アナバチ上科)

常 木 勝 次

Chrysoidea and Sphecoidea in the Collection of the Osaka  
Museum of Natural History

By K. TSUNEKI

---

生物研究 (福井) 第 XIII 卷 第 1-2 号 23~28 頁別刷

Reprinted from *The Life Study (Fukui)*, Vol. XIII, Nos. 1-2, pp. 23-28

June 15, 1969

---

大阪市立自然科学博物館所蔵のはち  
(セイボウ上科・アナバチ上科)

常 木 勝 次

Chrysoidea and Sphecoidea in the Collection of the Osaka  
Museum of Natural History

By K. TSUNEKI

In order to contribute to the faunistic knowledge of the Japanese insects the following list was made.

表題に示したハチのうち、めぼしいものの記載および分布については、すでに同館発行の Bulletin No. 19 (1966) に発表した。今般特に許可を得たので、全標木の Data をリストすることにした。これは将来の分布分析に資するためである。なお地名および採集者名は原則としてかな書きとした。この標本の大部分を採集され、またいろいろ便宜を計られた日浦勇氏にこの機会に謝意を表したい。

I. せいぼう上科 (CHRYSIDOIDEA)

1. せいぼう科 (CHRYSIDIDAE)

1. *Stilbum cyanulum* (Förster) オオセイボウ  
1♀, 福岡市 (ななくま), 5. IX. 1954 (大熊); 1♀, 門司市, 6. IX. 1958 (シバタ)。
2. *Chrysis (Chrysis) fuscipennis murasaki* Uchida クロバネセイボウ  
1♀, 大阪 (豊中), 18. VIII. 1959 (イトウ, 刺されて全身はれると注あり); 京都 (同志社大学内), 7. VIII. 1950 (K. M.); 1♀, 大阪 (箕面東山道), 18. VIII. 1944 (K. M.)。
3. *Chrysis (Chrysis) sarafschana rubripyga* Tsuneki ツマアカセイボウ  
2♀, 奈良 (大台が原山), 1. VIII. 1953 (サトウ)。
4. *Chrysis (Chrysis) galloisi* Buysson ホソセイボウ  
3♀, 徳島 (じんりょう村), 10. VII. 1958 (ヒウラ); 5♀, 奈良, どろかわ (一の行場), 24. VII. 1957 (ヒウラ)。
5. *Chrysis (Chrysis) splendidula* Rossi ツمامラサキセイボウ  
1♀, 兵庫 (西宮), 24. IX. 1963 (シバタ); 1♀, 大阪市 (城北), 22. IX. 1956 (コダマ)。
6. *Chrysis (Pentachrysis) shanghaiensis* Smith イラガセイボウ  
1♀1♂, 大阪市 (生玉神社), 1. VIII. 1953; 5. VII. 1954 (K. M.)。
7. *Omalus punctatus* (Uchida) ヒメツヤセイボウ  
1♀, 大阪市 (城北), 22. IX. 1959 (ヒウラ)。右後脚の爪, 右側4歯左側3歯。
8. *Omalus japonicus* (Bischoff) ツヤムネセイボウ  
2♀, 和歌山 (高野山), 3. VIII. 1958 (ヒウラ); 1♀, 奈良 (大台が原山), 28. VII. 1952 (サトウ)。

II. せいぼうもどき科 (CLEPTIDAE)

9. *Cleptes venustus* Tsuneki ヒウラセイボウモドキ  
1♂, 青森 (八戸市, しらはま), 11. VII. 1963 (ヒウラ)。

II. あなばち上科 (SPHECOIDEA)

I. せながあなばち科 (AMPULICIDAE)

10. *Ampulex amoena* Stal セナガアナバチ  
1 ♀, 徳島市, VII. 1955 (ノナカ)。

II. あなばち科 (SPHECIDAE)

I. あなばち亜科 (SPHECINAE)

- 11a. *Sphex (Sphex) argentatus argentatus* Fabricius クロアナバチ原種  
2 ♂, 沖の永良部島, 3, 24. VIII. 1958 (M. オクムラ)。この標本の翅色は亜種 *argentatus* と *fumosus* の中間状態で, この学名にぴったりとは該当しない。
- 11b. *Sphex (Sphex) argentatus fumosus* Mocsary クロアナバチ  
1 ♂, 大阪市 (生玉神社), 2. IX. 1949 (K. M.)。
12. *Sphex (Isodontia) nigellus* Smith コクロアナバチ  
1 ♀ 1 ♂, 沖の永良部島, 3, 23. VIII. 1958 (オクムラ)。
13. *Sphex (Isodontia) harmandi* Pérez アルマンアナバチ  
2 ♂, 奈良 (どろがわ), 30. VII. 1962 (ヤマダ)。
- 14a. *Ammophila (Ammophila) sabulosa nipponica* Tsuneki サトジガバチ  
1 ♀, 岐阜 (ひらゆ温泉), 15. VII. 1960 (ヒウラ); 1 ♀, 大阪市 (生玉公園), 5. VIII. 1956 (K. M.); 大阪市 (しぎ山), 23. VI. 1957 (サトウ); 1 ♂, 福岡市 (箱崎), 7. V. 1953 (ヒウラ)。
- 14b. *Ammophila (Ammophila) sabulosa infesta* Smith ヤマジガバチ  
1 ♀, 兵庫 (神崎郡, とちならだに), 4. VIII. 1963 (ヒウラ); 1 ♀, 香川 (小豆島, 寒霞溪), 5. VI. 1955 (オカダ)。
15. *Ammophila (Ammophila) clavus japonica* Kohl フジジガバチ  
2 ♀ 2 ♂, 秋田 (やまじーゆり, 400m), 29, 30. VII. 1959 (ヒウラ); 3 ♀, 兵庫 (あさこ郡, だにがみね), 5. VII. 1963 (ヒウラ); 1 ♀, 兵庫 (かわにし, かんてんほしば), 27. VII. 1961 (ヒウラ)。
16. *Ammophila (Hoplammophila) aemulans* Kohl ミカドジガバチ  
1 ♀, 大阪 (箕面奥高山), 13. VIII. 1948 (K. M.); 2 ♀, 兵庫 (かわにし, かんてんほしば), 11. VII. 1961 (ヒウラ)。
17. *Sceliphron (Sceliphron) madraspatanum* (Fabricius) キゴシジガバチ  
4 ♀, 沖の永良部島, VII~VIII. 1958 (オクムラ); 1 ♀, 高知 (かしわじま), 30. VII. 1953 (モリモト); 1 ♀, 大阪 (富田林), 10. IX. 1963 (ヒウラ); 2 ♀, 大阪 (しのだ村), 29. VII. 1960 (ヒウラ); 2 ♀, 大阪 (庄内栄町), 7. VI. 1961, 羽化 (ヒウラ); 1 ♀, 兵庫 (篠山), 7. VIII. 1955 (オクムラ)。  
最近 (1968) Van der Vecht は日本および琉球のものに亜種 *kohli* Sickmann をあて, 台湾のものに *formosanum* という新亜種を創設している。主として楯板の黄斑の有無 (*kohli* になく, *formosanum* にある) に基づくものである。これについて手持の標本を調べてみたところ, 次のような結果を得た。  
台湾産早40頭中, 楯板に黄斑を欠くもの1, 微小のもの7; 同産48頭中黄斑を欠くもの2, 微小のもの11。これに対して四国産の早16, 奄美大島産の早14, 計30頭中楯板に明瞭な斑紋のあるもの1; 同産四国産39, 奄美産14計53頭中小形ながら斑紋の明らかに認められるもの17頭であった。  
上記大阪科博の標本でも, 沖の永良部島の1 ♀には楯板上に2紋があり, また大阪庄内栄町のものには2頭とも大形明瞭な斑紋が認められた。
- 以上の結果によると, 傾向としては確かに台湾のものと日本 (琉球を含む) のものとの Vecht の言うよう

な差が認められるが、それによって両者を画然と分けることには、少し無理があるようである。特に♂においては交差が顕著である。したがって、もし機械的に Vecht の述べる亜種名をあてると、同地に同一種の 2 亜種が混生するという矛盾におちいりかねない。それゆえ現状では、亜種の傾向の強い事実を認めながらも、種名だけにとどめておくほうが、混乱を避け得るように思う。

なお、この点について、将来琉球南部諸島の標本を調査することは、興味あることである。

18. *Sceliphron (Sceliphron) deforme koreanum* Uchida モンキジガバチ

3 ♀, 奈良 (川上, いかだ場), 5. VIII. 1953 (サトウ)。

19. *Sceliphron (Chalybion) inflexum* Sickmann ルリジガバチ

1 ♀, 兵庫 (篠山), 25. VII. 1955 (オクムラ); 1 ♀, 大阪 (和泉佐野), 6. VIII. 1960 (ヒウラ); 1 ♂, 奈良 (川上), 3. VIII. 1953 (サトウ); 2 ♀, 徳島 (かみやま村), 4. VIII. 1956 (ヒウラ)。

II. けらとりばち亜科 (LARRINAE)

20. *Tachytes sinensis* Smith オオハヤバチ

1 ♀, 兵庫 (かんざき郡とちならだに), 4. VIII. 1963 (ヒウラ)。その prey がいっしょに採集されているが、それはクダマキモドキの若虫である。

21. *Larra carbonaria* (Smith) クロケラトリ

1 ♂, 大阪 (富田林), 11. XI. 1964 (ヒウラ); 1 ♂, 沖永良部島, VII~VIII. 1958 (オクムラ)。

22. *Liris (Dociliris) docilis* (Smith) コオロギバチ

1 ♀, 大阪 (生駒山), 28. XII. 1958; 1 ♀, 兵庫 (宝塚そうがわ谷), 17. XII. 1962 (ヒウラ); 1 ♀, 奄美大島 (古仁屋), 28. VIII. 1958 (オクムラ); 1 ♀, 沖永良部島, 18. VIII. 1958 (オクムラ)。

23. *Liris (Nigliris) japonica* Kohl ヒメコオロギバチ

1 ♀, 大阪 (生駒山), 9. II. 1958; 1 ♀, 大阪 (富田林), 6. II. 1964 (ヒウラ); 1 ♀, 石川 (輪島), 8. X. 1960 (ヒウラ)。

III. じかばちもどき亜科 (TRYPOXYLONINAE)

24. *Trypoxylon obsonator* Smith ジガバチモドキ

1 ♂, 沖永良部島, VII~VIII. 1958 (オクムラ)。

25. *Trypoxylon pulawskii* Tsuneki トゲジガバチモドキ

1 ♀, 大阪市 (生玉寺町), 13. VIII. 1952 (K. M.)。

26. *Trypoxylon kyotoense* Tsuneki キョウトジガバチモドキ

1 ♀ (タイプ), 京都 (貴船), 5. IX. 1946 (K. M.)。

27. *Trypoxylon pacificum* Gussakovskij コシブトジガバチモドキ

1 ♀, 新潟 (村上, 臥牛山), 15. VII. 1964 (ヒウラ); 1 ♀, 大阪 (金剛山), 17. VI. 1964 (ヒウラ); 1 ♀, 大阪 (いわわき山), 26. VII. 1958 (シバタ)。

28. *Trypoxylon frigidum cornutum* Gussakovskij ウスリージガバチモドキ

1 ♀, 大阪 (かなん町ひらいし), 17. IV. 1964 (ヒウラ)。

29. *Trypoxylon pennsylvanicum japonense* Tsuneki ヒメジガバチモドキ

1 ♂, 大阪 (鉢伏山), 15. IV. 1964 (ヒウラ)。

30. *Trypoxylon clavicerum exiguum* Tsuneki ケシジガバチモドキ

2 ♀ 2 ♂, 大阪 (いわわき山), 10. VI. 1960 (ヒウラ)。

31. *Trypoxylon dubiosum* Tsuneki トキンジガバチモドキ

1 ♀, 沖永良部島, VII~VIII, 1958 (M. Okumura)。

32. *Pison strandi* Yasumatsu (= *iwatai* Yasum.) クロバネピソン

1 ♂, 兵庫 (かわにし市一の鳥居), 28. VI. 1959 (ヒウラ)。

IV. ひめこしばそばち科 (PEMPHREDONINAE)

33. *Psen (Psen) aurifrons* Tsuneki カオキンブセン  
 1 ♀, 大阪 (金剛山つつじお谷), 27. V. 1964 (ヒウラ); 1 ♂, 徳島 (さわたに村ひなた谷), 8. VII. 1955 (ヒウラ)。
34. *Psen (Psen) affinis* Gussakovskij タカネブセン  
 1 ♀, 秋田 (鳥海山, 1200~1400m), 31. VII. 1959 (ヒウラ)。
35. *Psen (Psen) hakusanus* Tsuneki ハクサンブセン  
 1 ♂, 大阪 (金剛山, びょうぶ坂), 17. VI. 1964 (ヒウラ)。
36. *Psen (Mimumesa) littoralis* (Bondroit) アシジロブセン  
 1 ♀, 富山 (ねひ, ふるさと村), 9. X. 1959 (ヒウラ)。
37. *Psen (Mimumesa) dahlbomi pacificus* Tsuneki ウスヒゲブセン  
 1 ♂, 奈良 (大台が原山), 9. VIII. 1957 (ヒウラ)。
38. *Psenulus nikkoensis* Tsuneki ニツコウマエダテ  
 1 ♀, 岩手 (たのはた村ぬまぶくろ), 13. VII. 1963 (ヒウラ)。
39. *Psenulus rubricus* (Pérez) ペレーマエダテ  
 1 ♂, 岐阜 (ひらゆ峠, 1400~1600m), 14. VIII. 1960 (ヒウラ)。
40. *Psenulus maculipes* Tsuneki マダラアシマエダテ  
 1 ♀, 奈良 (いなむらが岳), 10. VIII. 1959 (オノ)。
41. *Psenulus fuscipes* Tsuneki クロアシマエダテ  
 1 ♀, 青森 (西津軽郡しゃりきーたかやまいなり), 20. IX. 1964 (ヒウラ); 1 ♀, 大阪 (河内長野, しまりおおたに), 12. VI. 1962 (ヒウラ); 1 ♂, 和歌山 (ごまだん山水がみね), 31. VII. 1957 (ヒウラ)。
42. *Pemphredon (Pemphredon) japonicus* Matsumura オオアリマキバチ  
 1 ♀, 岐阜 (ひらゆ温泉), 13. VII. 1960 (ヒウラ)。
43. *Pemphredon (Cemonus) lethifer* (Shuckard) オオグシアリマキバチ  
 9 ♀ 1 ♂, 青森 (東津軽郡たっぴーみさき), 17. VII. 1964 (ヒウラ); 8 ♀ 1 ♂, 同地 (たっぴーほろない), 同日; 1 ♀, 同県 (西津軽郡, しゃりきーたかやまいなり), 20. VII. 1964 (ヒウラ); 1 ♀, 大阪 (金剛山, びょうぶ坂), 17. VI. 1964 (ヒウラ)。
44. *Passaloeus monilicornis* Dahlbom ジュズタミスカバチ  
 2 ♀, 奈良 (どろがわ, 一の行場, 竜泉寺), 22, 24. VII. 1959 (ヒウラ)。
45. *Passaloeus tenuis yamato* Tsuneki ヒメミスカバチ  
 1 ♂, 大阪市 (うつば), 6. IX. 1958 (ヒウラ)。
46. *Stigmus (Carinostigmus) filippovi* Gussakovskij エンモンバチ  
 3 ♂, 大阪 (鉢伏山北麓, 山桜花上), 15. IV. 1964 (ヒウラ)。

V. だろばちもどき亜科 (NYSSONINAE)

47. *Mellinus obscurus* Handlirsch ハエトリバチ  
 1 ♀ 2 ♂, 奈良 (大台が原山), 2. VIII. 1953 (サトウ)。  
 本種は朝鮮産の 1 ♀に基づいて記載された種であるが, 後に日本のものには Pérez が *M. tristis* という名を与えた。ところが日本のものは, 朝鮮のものと標本および原記載の比較で, 少なくとも私の知る限りでは何ら違いはなく, したがって *tristis* は全くのシノニムと見なければならぬ。アジアの内陸地方にも同種が発見され, それは腹部の点刻が日本のものより明瞭であるといわれている。もしも, それを別亜種とみるなら, そのものには新亜種名が付けられなければならない。
48. *Alysson (Alysson) cameroni* Yasumatsu et Masuda ニッポンツヤバチ

1♂, Mt. Yatsu (?), 12. VIII. 1956 (オクムラ)。この個体は中節がかなり強く青味がかり、また楯板に黄紋を欠き、一見別種のように見える。

なお、この機会によく類似している *Alysson pertheesi* ♂との主要な相違点を記しておく、*pertheesi* では頭楯前部がより強く丸く前方に傾き、より強く隆起しているように見えるし、また楯板に中央溝を欠き、中節の条刻がやや弱い。その他の一般的色彩、構造、点刻では区別は困難である。

49. *Nippononysson rufopictus* Yasumatsu et Maidl ヤマトドロバチモドキ

1♀, 奈良 (大台が原山), 28. VII. 1955 (サトウ)。

VI. ふしだかばち亜科 (PHILANTHINAE)

50. *Cerceris hortivaga* Kohl ツチスガリ

1♂, 青森 (東津軽郡たつぴーほろない), 17. VII. 1964 (ヒウラ); 三重 (東青山), 28. IX. 1952; 1♂, 奈良 (どろがわ), 22. VII. 1957 (ヒウラ); 3♂, 奈良 (かわかみ, いかだ場), 1. VIII. 1953 (サトウ)。

51. *Cerceris japonica* Ashmead マルモンツチスガリ

2♀, 青森 (西津軽郡), 20. VII. 1964 (ヒウラ); 1♂, 岩手 (たのはた村), 12. VII. 1963 (ヒウラ)。

52. *Cerceris albofasciata* Rossi アカアシツチスガリ

5♂, 青森 (西津軽郡しゃりきーたかやまいなり), 20. VII. 1964 (ヒウラ); 2♀3♂, 大阪市 (いづみ公園), 19. VII. 1961 (ウエヤマ)。

VII. ぎんぐちばち亜科 (CRABRONINAE)

53. *Ectemnius (Metacrabro) konowii* (Kohl) オオギングチ

1♀, 栃木 (日光中禅寺湖畔), 22. IX. 1953 (K. M.)。

54. *Ectemnius (Metacrabro) marjanowii* (Kohl) アギトギングチ

4♂, 岐阜 (ひらゆ峠, 1400~1600m), 14. VII. 1960 (ヒウラ)。

55. *Ectemnius (Metacrabro) irridifrons* (Pérez) シロスジギングチ

1♂, 秋山 (やじま), 29. VII. 1959 (ヒウラ)。

56. *Ectemnius (Hypocrabro) radiatus* (Pérez) ミズホギングチ

3♂, 奈良, (大台が原山), 2. VIII. 1953 (サトウ)。

57. *Ectemnius (Hypocrabro) continuus* (Fabricius) ナミギングチ

1♀, 群馬 (尾瀬: 大清水一根羽沢), 22. VIII. 1961 (ヒウラ)。

58. *Ectemnius (Clytochrysus) nigrifrons* (Cresson) ヒラヅギングチ

1♀, 栃木 (日光中禅寺湖畔), 22. IX. 1953 (K. M.)。

59. *Ectemnius (Clytochrysus) cavifrons* (Thomson) クボヅギングチ

1♂, 大阪 (いわわき山), 19. V. 1957 (シバタ)。

60. *Lestica (Lestica) collaris* (Matsumura) クビワギングチ

1♂, 奈良 (大台が原山), 30. VII. 1952 (サトウ)。この標本に Iwata, 1938 の *Thyreus reitcri kuramensis* の同定ラベルがついている(?)。

61. *Lestica (Clypeocrabro) reitcri* (Kohl) クラマギングチ

1♂, 青森 (東津軽郡たつぴーほろない), 17. VII. 1964 (ヒウラ)。

62. *Crossocerus (Cuphopterus) monstrosus suzukii* (Matsumura) ススキギングチ

1♀, 秋田 (八幡平), 4. VIII. 1959 (ヒウラ); 1♂, 奈良 (大台が原山), 2. VIII. 1953 (サトウ)。

63. *Crossocerus (Cuphopterus) hakusanus* Tsuneki ハクサンギングチ

1♂, 大阪 (いわわき山), 10. VI. 1960 (ヒウラ); 1♀, 奈良 (大台が原山), 2. VIII. 1953 (サトウ)。

64. *Crossocerus (Coelocrabro) pauxillus* (Gussakovskij) スギハラギングチ

1♀, 徳島 (剣山こりとり), 16. VI. 1959 (ヒウラ)。

65. *Crossocerus (Coelocrabro) hiurai* Tsuneki ヒウラギングチ  
 1 ♂ (タイプ), 大阪 (河内長野, しまのたに), 12. VI. 1962 (ヒウラ)。
66. *Crossocerus (Coelocrabro) cetratus* (Shuckard) ヒラアシギングチ  
 1 ♀, 徳島 (剣山こりと), 16. VI. 1959 (ヒウラ)。
67. *Crossocerus (Coelocrabro) barbipes* (Dahlbom) ヒゲアシギングチ  
 2 ♀, 岩手 (八幡平と一ひち), 4. VIII. 1959 (ヒウラ); 1 ♀, 群馬 (尾瀬: 大清水-柳沢), 22. VIII. 1961 (ヒウラ)。
68. *Crossocerus (Crossocerus) denticrus* Herrich-Schaeffer トゲアシギングチ  
 4 ♂, 岩手県 (たのはた村, かち), 12. VII. 1963 (ヒウラ)。
69. *Rhopalum (Latrorhopalum) latronum* (Kohl) クロギングチ  
 1 ♀ 1 ♂, 岐阜 (ひらゆ峠, 1600m), 14. VII. 1950 (ヒウラ); 2 ♂, 和歌山 (ごまだん山), 4. VIII. 1957 (ヒウラ); 1 ♀ 1 ♂, 徳島 (さわだに村どすだに), 11. IX. 1955 (ヒウラ)。
70. *Rhopalum (Rhopalum) yanustum* Tsuneki コイケギングチ  
 1 ♀, 大阪 (河内長野しまのたに), 12. VI. 1962 (ヒウラ)。

〔付記〕 この Collection の中に Gorytini が全く欠け, また *Bembix*, *Bembecinus*, *Lyroda*, *Oxybelus* 等の普通種も全く含まれていないことは, むしろふしぎに思われる。